

学校教育目標 自立貢献 ～自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することのできる生徒の育成～

a ミッション	「生徒や保護者、地域から信頼される学校をつくる。」 生徒や保護者が美木中に来て良かった。行かせて良かった。また、教職員が美木中に勤務して良かったと思える学校にする。 ○德育・徳育・体育のバランスを図り、地域に根ざした教育活動の推進 ○学校教育の信頼性と満足度の向上 ○SSRによる不登校等生徒への適切な支援の充実及び不登校の未然防止	a ビジョン	・規範意識を身に付け、向上心を持ち、自ら学ぶ意欲的な生徒を育成する。 ・自他を大切にしている生徒を育成する。 ・自己を認識し、将来の夢や目標を立て、その達成に向けて計画ができる生徒を育成する。
---------	---	--------	--

尾道市立美木中学校

評価計画				自己評価					学校関係者評価			改善計画	
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案
					g 達成値				イ	ロ	ハ		
確かな学力	「主体的な学び」を促す教育活動を実践し、確かな学力を育成する。 ○自ら学び、自ら考え、表現する力の育成	・教科・領域において、ICT機器を活用した授業づくりに取り組み、授業研究等での実践発表を通して授業力を高める。 ・教科・領域において、学習目標達成をみとる手立てとして、話す・書く等の表現をさせる場を設定し、表現力を育成する。	①学校評価生徒アンケート。 ②学校評価教職員アンケート。 ③教職員ICTに係わるアンケート。	60%	96.8%	93%	155%	A	①②の学校評価アンケートにおいて、生徒アンケートでは肯定的評価は96.8%、教職員アンケートでは肯定的評価は88.9%である。③の教職員ICTに係わるアンケートにおいて、教職員の教材研究や指導の準備、評価においてICTの活用は100%行われているが、生徒によるICTの活用において全く使っていないのが25%であった。クロムブックの使用頻度は週に1～3回程度が29%、月に1～3回が46%、全く使っていないが31%であるという結果から、生徒によるICTの活用頻度がやや低く、有効に使うことに課題がある。またクロムブック使用においてどのような機能や使い方があるのか分からない教職員もあり、それに関する研究や研修が必要である。	3		継続して、ICT活用と改善策を実行されてください。	研修等で、生徒によるICTの活用例などを紹介し、教職員がICT活用を意識して、研究を行っていく。
			①学校評価生徒アンケート。 ②学校評価教職員アンケート。	60%	82.5%	86%	143%	A		3	表現力の質を高めるとは具体的にどうなるのが教えてください。	教職員・生徒とも表現力を高めることに関しての意識は高いが、表現する内容の質を高められるように取り組んで行く。	
豊かな心の育成	規範意識や礼儀など、豊かな心を育成する。 ○「時を守り、場を清め、礼を正す」の奨励	・チャイム前着席の呼びかけと、授業開始時に立腰・黙想を実施し、授業に臨む態度を養う。 ・10分間集中して清掃活動に取り組みせ、掃除の習慣化を図り、清潔な生活環境への意識を高める。	①学校評価生徒アンケート。 ②学校評価教職員アンケート。	80%	97.8%	88%	110%	A	学校教職員評価アンケートは、肯定的評価が77.8%、学校評価生徒アンケートは、肯定的評価が97.8%だった。教職員アンケートが80%に達していないことが課題である。立腰・黙想は声かけをすればできるようになってきたが、チャイム前着席は全学年ともまだ十分に守られていない。	3		チャイム前は、時間を意識して着席100%をめざしてください。	アンケートをチャイム前着席と、授業開始時の立腰・黙想について分ける。チャイム前着席が守れるように、2分前着席を呼びかける。教員が、授業開始前に教室に行き、生徒の意識の向上を図る。
			①学校評価生徒アンケート。 ②学校評価教職員アンケート。	80%	91.3%	73%	91%	B		3	清掃は、自ら出来るよう取組をお願いします。	掃除の振り返りを、掃除リーダーにしっかり記入させ、各掃除場所の取組の状態を客観的に見える化し、集中して掃除ができるよう声かけを行う。	
			①学校評価生徒アンケート。 ②学校評価教職員アンケート。	80%	89.0%	69%	86%	B		3	継続して、あいさつが気持ちよくできるよう努めてください。	生徒会執行部・学級委員会を中心に、あいさつ運動を行い、全校生徒が自分からあいさつをできるようにしていく。	
健やかな体の育成	自己を認識し、自分の将来の夢や目標を持つことのできる生徒を育成する。 基本的な生活習慣を確立する。 ○三点固定（朝起きる時間、家庭学習を始める時間、寝る時間）の確立	・生徒一人一人に自分の日課表を作成させ、生活習慣の定着を図る。また、定期的に自分の生活習慣を振り返らせ、規則正しい生活を定着させることへの意識を高める。	学校評価生徒アンケート。 ①「起きる時刻と寝る時刻を決めて、毎日それを守って規則正しい生活を送っている」 ②「自分で家庭学習の時間を決めて、毎日それを守って勉強している」 それぞれの肯定的評価の向上。	75%	66.2%	62%	83%	B	①の肯定的評価は66.2%という結果となった。起床時刻は登校時間により定まりやすいが、就寝時刻が不規則になりやすい生徒が多い。なぜ就寝時刻が遅くなるのか、生徒自身が自分の生活習慣を振り返り改善に繋がるような動きかけが必要である。 ②の家庭学習開始時刻についても、毎日の学習習慣の定着とともに十分な睡眠時間の確保に繋げていく必要があるため、試験週間以外でも具体的な学習計画（時間及び内容）が必要である。	3		生活習慣は、時間が基本だと思いきや。努力されてください。	1学期の自分の生活習慣を振り返らせ、自分の課題を把握し、規則正しい生活のために取り組みたい個人目標を1つ以上決め、達成できるよう取り組ませていく。（就寝時間の設定、メディアの使用時間、1日の学習量など） また、生活アンケートの結果を活用し、全校全体の課題は保健指導等を充実させていく。個人に課題がある場合は必要に応じて家庭連携等を行い、生活習慣の改善に繋げていく。

【自己評価 評価】
 A: 100 ≦ (目標達成)
 B: 80 ≦ (ほぼ達成) < 100
 C: 60 ≦ (もう少し) < 80
 D: (できていない) < 60

【外部評価】 イ: 自己評価は適正である。ロ: 自己評価は適正でない。ハ: わからない。